

大学院 国際実践教育

PRACTICE-BASED GLOBAL STUDIES
FOR GRADUATE SCHOOLS



CHIBA UNIVERSITY

263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33

千葉大学学務部国際企画課

<https://global-education.chiba-u.jp/>

Copyright (C) 2025 Chiba University. All Rights Reserved.



CHIBA UNIVERSITY

大学院国際実践教育

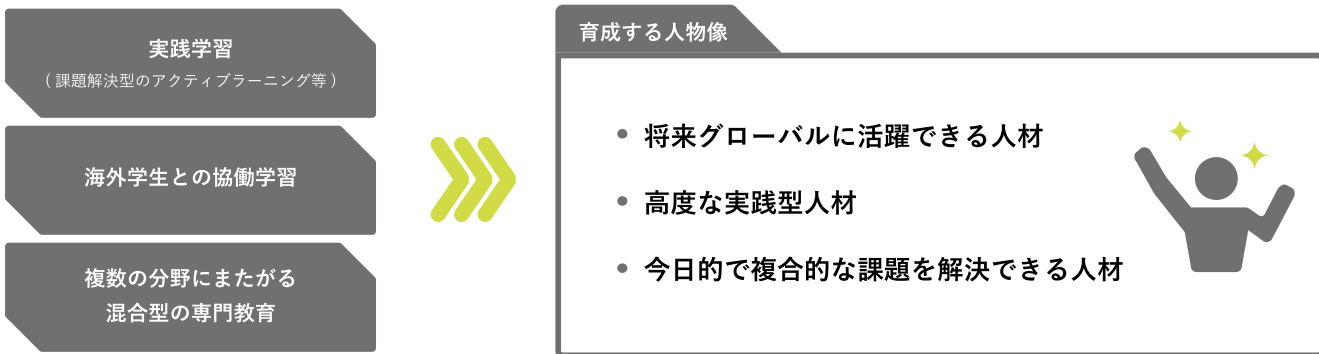
PRACTICE-BASED GLOBAL STUDIES FOR GRADUATE SCHOOLS 2025

大学院国際実践教育とは

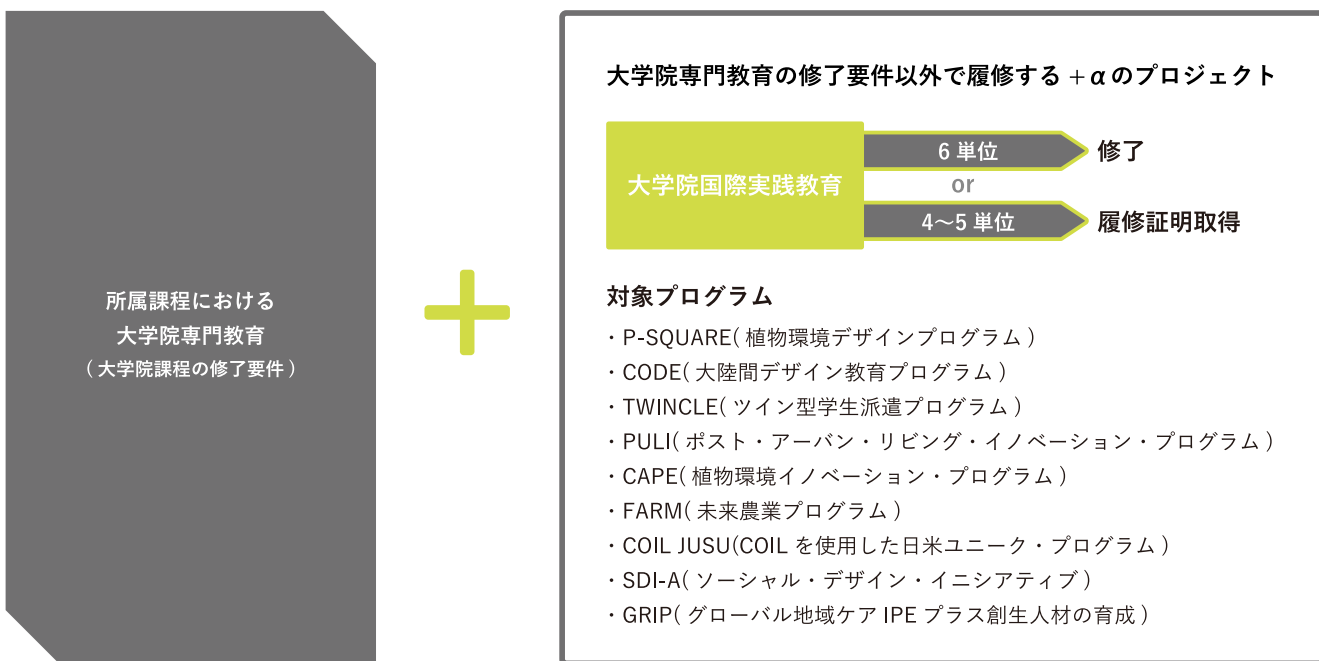
大学院国際実践教育は、将来グローバルに活躍できる高度な実践型人材を育成することを目的とした千葉大学の大学院生を対象とする全学副専攻プログラムで、海外協定校の学生との協働学習を中心とした大学院国際実践教育の指定科目を、主専攻である研究科・学府での修了要件単位以外で、所定の履修要件に基づき履修するものです。

▶ 大学院国際実践教育の特徴と育成する人材像

【大学院国際実践教育の特徴】



▶ 大学院課程の修了要件と大学院国際実践教育の関係



※大学院国際実践教育における対象プログラムを一つ選択し、修了または履修証明取得に必要な単位を同一プログラムの中から選択します。

▶ 申請方法

前期は7月、後期は12月に修了認定等の受付を行います。詳しくは、グローバル・エデュケーション web サイト等を通してお知らせします。

要件

- 対象プログラムのいずれかに参加し、大学院国際実践教育の指定科目より修了等に必要な単位を修得すること。
(修了要件：6単位以上、履修証明取得要件：4～5単位)
- 大学院国際実践教育の要件単位を同一プログラムにおける指定科目から修得すること。
- 主専攻である研究科・学府の修了要件単位以外で、大学院国際実践教育の要件単位を修得すること。

指定科目一覧

- 指定科目一覧はグローバル・エデュケーション web サイトよりご確認ください。
- 他研究科(学府)で開講されている科目を履修する場合の修得単位の取扱い等についての詳細は、各自で所属研究科(学府)の学務担当窓口にお問い合わせください。

▶ 大学院国際実践教育の対象プログラム一覧

プログラムの参加にあたっては、事前の申込手続きが必要です。詳細は各プログラム担当にお問い合わせください。

下記プログラム一覧のロゴマーク横には、プログラム内容と関連のある学問領域を示していますので、参考にしてください。

P-SQUARE (植物環境デザインプログラム)



植物による環境貢献ができる国際的な「環境デザインプロフェッショナル」を育成します。日本人と留学生がチームで問題解決を目指す教育研究を実施。アジア各国の大学と連携し、関連企業のインターンシップも行っています。

■お問い合わせ：fc-farm@chiba-u.jp URL：http://www.chiba-u.ac.jp/campusasia/

CODE (大陸間デザイン教育プログラム)



米国 + 欧州 + 日本の特徴あるデザイン教育プログラムを有する大学が協働し、未来の日本を担う創造型産業、特にサービスやコンテンツのデザイン領域において我が国の将来の産業を創成するグローバルなデザイナーを育成します。

■お問い合わせ：design-code@chiba-u.jp

TWINCLE (ツイン型学生派遣プログラム)



教育学部・研究科と他学部・研究科の学生がペアを組んで ASEAN 諸国および台湾を訪問し、現地の高等学校で先生となり、本学で行われている先端科学研究や日本文化についての授業・実験を実施します。英語プレゼンテーション能力のほか、渡航前に実施される ASEAN 連携大学の学生達との交流や協働での授業開発を通じ、英語コミュニケーション能力の向上が期待されます。

■お問い合わせ：edu-twinkle@chiba-u.jp URL：http://twinkle.e.chiba-u.jp/

PULI (ポスト・アーバン・リビング・イノベーション・プログラム)



日本の学生がメキシコやパナマの学生とともに世界の都市圏が抱える課題を考え、未来の快適な都市を創造するプログラムです。本学における学習と、海外留学生との日本及び中米でのグループディスカッション等を通して、グローバルな視点で課題解決が出来る知性を養います。文系・理系の人材が協働し、企業と同じプロセスでプログラムを実施します。

■お問い合わせ：design-code@chiba-u.jp

CAPE (植物環境イノベーション・プログラム)



国芸学研究科が実施する植物栽培環境プログラムと、融合理学府が実施するイノベーション・プログラムの両方を混合し、植物環境に関わる種々のワークショップを行います。自らの研究領域にこだわらず、農業、IoT、ロボットや AI などの理工系分野に加えて、食品流通経済、都市公園政策などの社会科学系分野に至る多様な領域を学びます。

■お問い合わせ：design-code@chiba-u.jp
URL：http://www.chiba-u.jp/campusasia/cape

FARM (未来農業プログラム)



未来農業ビジネスの一つである、植物工場の生産から販売までのマネジメント、養蜂のイノベーション、農林業での IT 利用に関わるプロフェッショナルな人材を日本と海外協定校が協働して育成します。農学だけでなく、工学、理学、経営学、栄養学、環境学など様々なバックグラウンドを持つ人材が、本プログラムに参加することで、未来農業ビジネスの展開に必要な技術と知識を身に付け、新たな企画を提案できる能力を持つ人材を育成します。

■お問い合わせ：fc-farm@chiba-u.jp

COIL JUSU (COIL を使用した日米ユニーク・プログラム)



米国と日本におけるユニークな授業を COIL を利用して実施します。社会教育、化粧品学、ビジネスデザイン、エンターテインメント等、米国 4 大学の特色ある授業を日本で、災害看護、植物工場、日本の古典芸能、千葉大学の特色ある授業を米国で実施するプログラムです。さらには、関連したインターンシップ、ボランティアのソーシャルラングを COIL+VIP(Volunteer, Internship, Professional Study) として実施します。

※COIL: Collaborative Online International Learning- オンラインを活用した国際的な双方向の教育手法 -

■お問い合わせ：global-program@chiba-u.jp URL：http://las.chiba-u.jp/jusu/

SDI-A (ソーシャル・デザイン・イニシアティブ)



芝浦工業大学との連携の下、世界が抱える貧困、格差、高齢化といった「厄介な社会の問題 (Wicked Problem)」に対し、実際に現地に赴きその問題を理解し、多様で俯瞰的な解決策を提案し実現できるソーシャル・デザイン・イニシアティブ (SDI) 人材を育成するプログラムです。

■お問い合わせ：https://socialdesigninitiative.studio.site/cms
(TOP ページ右上の「Contact」よりお問い合わせ可)

GRIP (グローバル地域ケア IPE プラス創生人材育成)



どの国、どの地域であっても、自国でも他の国でも、健康関連の社会課題に対し自らの専門性を発揮・活用し、他の専門職とともにチームとして取り組み、文化的対応能力と文化的謙虚さを基盤として、現場での最適解を導き出すことができる自律した組織人の育成をめざします。SDGs の開発目標 3「すべての人に健康と福祉を」に貢献する地域ケアを創生できる専門職を養成します。

■お問い合わせ：grip-office@chiba-u.jp URL：https://www.n.chiba-u.jp/grip/

【大学院国際実践教育に関するお問い合わせ】

千葉大学学務部国際企画課 (総合学生支援センター 2 階)
TEL 043-290-3782 Email：global-program@chiba-u.jp URL：https://global-education.chiba-u.jp/

グローバル・エデュケーション
web サイト

